

# 排出削減実績報告書

排出削減事業の名称：

香川シームレス株式会社における  
ボイラー更新事業

排出削減事業者名：香川シームレス株式会社

排出削減事業共同実施者名：

ES カーボンクレジット合同会社

その他関連事業者名：

## 1 排出削減事業者の情報

排出削減事業者	
会社名	香川シームレス株式会社
排出削減事業を実施する事業所	
事業所名	香川シームレス株式会社 土器川工場
住所	香川県丸亀市飯山町東小川 1985-2
排出削減事業共同実施者（国内クレジット保有予定者）	
排出削減事業共同実施者名	ES カーボンクレジット合同会社
その他関連事業者	
関連事業者名	

## 2 排出削減活動の概要

### 2.1 排出削減事業の名称

香川シームレス株式会社におけるボイラー更新事業

### 2.2 排出削減事業の目的

本事業は、A 重油焚きボイラー2 台を LPG 焚きの高効率ボイラー3 台に更新するものである。

### 2.3 温室効果ガス排出量の削減方法。

香川シームレス株式会社において、既設の A 重油焚きボイラー2 台を LPG 焚きの高効率ボイラー3 台に更新する。これによりエネルギー効率を改善し、さらに燃料を A 重油からより低炭素の LPG へ切り替えることにより、CO2 排出量を削減する。

### 2.4 国内クレジット認証要件の確認

排出削減量は承認排出削減計画に従って当該計画を実施した結果生じたものか	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
排出削減量は承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されているか	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ

### 2.5 承認排出削減事業計画からの変更項目

### 3 排出削減活動期間

#### 3.1 プロジェクト開始日

2011年 8月 22日

#### 3.2 モニタリング対象期間

(本報告における実績報告期間)

2018年 6月 1日 ～ 2019年 8月 21日

### 4 温室効果ガス排出削減量

#### 4.1 採用した排出削減方法論の情報

方法論番号	方法論名称
001	ボイラーの更新

#### 4.2 活動量

##### 4.2.1 活動量・原単位

活動量、原単位は採用しない。

##### 4.2.2 活動量の採用根拠

#### 4.3 事業の範囲（バウンダリー）

本事業のバウンダリーは、香川シームレス株式会社において更新される A 重油焚きボイラーおよび LPG 焚きボイラーから蒸気の供給を受ける設備である。

## 5 モニタリング対象指標

項目	定義	単位	実績値	モニタリング方法・ 根拠資料	(モニタリング方法 に変更ある場 合、) 変更理由
$F_{fuel,Pj}$	事業実施後の LP ガスの 使用量	kg	2018 年度 : 337,998 2019 年度 : 149,217	燃料販売会社からの請求書によ り毎月確認、記録する。(請求書 は kg 単位のため重量換算は不 要)	変更なし
$\varepsilon_{Pj}$	更新後のボイラー効率	%	90.7	カタログ値より算出(高位発熱量 時)	変更なし
$\varepsilon_{BL}$	更新前のボイラー効率	%	82.7	カタログ値より算出(高位発熱量 時)	変更なし
$CF_{fuel,Pj}$	事業実施後燃料 (LPG) の単位発熱量あたりの 排出係数	t-CO <sub>2</sub> /GJ	2018 年度 ～2019 年度 : 0.0601	J-クレジット制度のデフォルト 値	変更なし
$CF_{fuel,BL}$	事業実施前燃料(A 重油) の単位発熱量あ たりの排出係数	t-CO <sub>2</sub> /GJ	2018 年度～ ～2019 年度 : 0.0708	J-クレジット制度のデフォルト 値	変更なし
$HV_{fuel,Pj}$	事業実施後燃料 (LPG) の単位発熱量	GJ/kg	2018 年度 ～2019 年度 : 0.0501	J-クレジット制度のデフォルト 値	変更なし

## 6 排出削減量の計算

### 6.1 事業実施後排出量

	活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
2018 年度	337,998	0.0501	0.0601	1,017.7
2019 年度	149,217	0.0501	0.0601	449.3
単位	kg	GJ/kg	tCO2/GJ	tCO2
EM <sub>PJ</sub>				1,467.0

### 6.2 ベースライン排出量

	活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
2018 年度	18,571.8	—	0.0708	1,314.9
2019 年度	8,198.9	—	0.0708	580.5
単位	GJ	—	tCO2/GJ	tCO2
EM <sub>BL</sub>				1,895.4

### 6.3 リークージ排出量

	活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
2018 年度	0			0
2019 年度	0			0
LE				0

### 6.4 温室効果ガス排出削減量

項目	記号	削減量
ベースライン排出量 (7.2)	EM <sub>BL</sub>	1,895.4
事業実施後排出量 (7.1)	EM <sub>PJ</sub>	1,467.0
リークージ排出量 (7.3)	LE	0
<b>温室効果ガス排出削減量</b>	<b>ER</b>	<b>428</b>

## 7 省エネルギー量

原油換算 (kl)		
ベースライン (①)	実績 (②)	ベースライン －実績 (①－②)
700.3	638.6	61.7

省エネルギー量 (原油換算) = **61.7** kl

熱量換算及び原油換算において用いる換算係数については、エネルギー使用の合理化に関する法律 (省エネ法) 施行規則第 4 条に規定する換算係数を使用すること。

## 8 再生可能エネルギー利用量

	モニタリング期間 ( 年 月 日 ~ 年 月 日 )			
		エネルギー使用量 (実績)	熱量換算 (GJ) (実績)	原油換算(kl) (実績)
	単位			